

(公社)地盤工学会における男女共同参画・ダイバーシティ推進に向けた活動

地域地盤環境研究所 正会員 ○北田 奈緒子
神戸大学大学院工学研究科 正会員 片岡 沙都紀

1. はじめに

少子高齢化による労働力人口の減少に対応した人材確保の観点から、様々な機関や企業がダイバーシティに取り組んできている。(公社)地盤工学会においても、2010年に会員・支部部内に常設委員会として立ち上がった。地盤工学会でのダイバーシティの歩みを表-1に示す。主な活動は、①部会、各委員会メンバーへの女性会員の参加促進、②男女共同参画学協会連絡会への参加、③地盤工学研究発表会における託児所設置ならびにディスカッション・セッションの継続的開催、④同様の専門分野を扱う土木学会との情報共有と連携強化等である。

2. 男女共同参画・ダイバーシティ委員会の活動状況

1) 会費の減免措置制度

地盤工学会での会費減免措置制度は、2010年より導入している。当会における減免対象者の条件としては、①若手(10代および20代の正会員)、②男女共同参画に資すると認められる30代女性、③身体障害者手帳を有する者、④産休・育休を取得している者、としている。なお、会費減免措置は、制度開始から2017年度までに500名を超える会員が利用している。本制度を取り入れたことによる会員増への成果に関しては現在検証中であるが、女性会員比率が制度開始以前よりも微増していることから、一定の効果は得られているのではないかと考えている。

2) ダイバーシティ座談会

地盤工学会では2011年よりダイバーシティに関する座談会を開催している。これまでの座談会は、主にベテランや若手など世代間の交流・意見交換の場としての開催であったが、2017年度の座談会は、例年とは異なるテーマへのチャレンジとして「国際化」を取り上げた。写真-1に座談会時の様子を示す。ただし、単に国際化と言っても様々な観点があり、議論の発散を避けるためテーマを「外国人が日本で働くこと」に絞り、国内で就労されている外国人の方、及び外国の方

表-1 地盤工学会でのダイバーシティの歩み

年	トピック
2003	・企画部に男女共同参画担当部員を配置
2004	・男女共同参画学協会連絡会に加盟
2005	・地盤工学研究発表会(全国大会)にて、男女共同参画セッションを開催(以後、継続活動)
2008	・地盤工学研究発表会にて、託児所を設置(以後、継続活動)
2009	・土木学会との連携を開始 ・女子中高生を対象とした夏の学校への参加(以後、継続活動)
2010	・男女共同参画・ダイバーシティ委員会の発足 ・地盤工学会での減免措置制度の導入(以後、継続活動)
2011	・地盤工学研究発表会にて、サロン・土・カフェWを開始(以後、継続活動) ・男女共同参画活動が地盤工学会事業企画賞を受賞
2012	・シニアWGの活動を開始
2013	・ダイバーシティ座談会の開始(以後、継続活動)
2015	・地盤工学会誌にて、ダイバーシティ活動に関する特集号を刊行
2016	・サロン・土・カフェWが地盤工学会事業企画賞を受賞



写真-1 ダイバーシティ座談会の様子

キーワード 男女共同参画, ダイバーシティ, ワーク・ライフ・バランス, 座談会

連絡先 〒540-0008 大阪府大阪市中央区大手前2丁目1-2 (一財)地域地盤環境研究所 TEL 06-6941-8833

を受け入れる日本人との交流の場とした。参加者からは日本で働くことに対する外国人の方々の就職事情や職場環境など、日本社会の国際化対応に関する課題の多さを肌で感じることができたと盛況であった。

3) 技術者紹介 web 版

2015 年 7 月、地盤工学会誌に技術者・研究者の紹介を目的としたダイバーシティの特集が組まれ、多くの方々から反響を得た。そこで、学会に所属する様々な技術者や研究者を継続的に紹介していくことを目的として、2017 年 1 月より、3～4 か月に 1 編のペースで学会 HP 上に掲載している。

4) 地盤工学研究発表会での各種行事

①ダイバーシティ特別セッション

地盤工学会では、2005 年より「男女共同参画」「ダイバーシティ」に関するセッション当該研究会発表会にて開催をしてきており、「産」、「学」などの視点からダイバーシティの現状と課題について議論してきている。2017 年度は、世代間、国籍間から見る「ダイバーシティ」について検討し、女性技術者の立場から考える「ワーク・ライフ・バランス (WLB)」や、外国人の方が感じる日本での WLB などを紹介すると共に、若手からベテランまで幅広い世代に関する講演をいただいた (表-2)。

②サロン・土・カフェ W

2010 年度の当該研究発表会より毎年開催してきている「サロン・土・カフェ W」は、例年様々な世代間・国際交流を行う機会を提供している。2017 年度は、女性 19 名、男性 19 名の計 36 の会員の方が参加をし、各所属機関におけるダイバーシティの取組みや、仕事を続けていくことへのアイデアなどをテーマとしてディスカッションが繰り広げられた (写真-2)。参加者からは非常に有意義のある場で参加して良かったなどの声も挙がっており、先に示した特別セッションと合わせて、今後も継続して活動していく。

5) 対外活動 (女子中高生夏の学校などへの参加)

本企画は、独立行政法人国立女性教育会館が主催しており、女子中高生が科学技術に触れ、科学技術の世界で生きる女性・先輩たちとともに将来を考える機会を創出することを狙いとしている。地盤工学会では、本企画に 3 年前から参加しており、2017 年度は安全な地盤を構築するという観点から、土を用いてソイルタワーを作製し、強さを競ってもらった (写真-3)。参加者した女子中高生は計 6 名と少なかったが、初めての作業に楽しそうに実施していた印象を受けた。

3. おわりに

地盤工学会の今後の課題は、学会本部と支部が連携した、地域に根付いたダイバーシティの実現である。今後、日本人口の傾向からも会員の急激な増加はあまり見込めない中でも、皆で魅力ある学会を目指して、会員同士のみならず関係する組織も巻き込んで、取り組みを進めて行ければと考えている。

表-2 地盤工学研究発表会 特別セッション

主催：公益社団法人地盤工学会 / 共催：公益社団法人土木学会、 土木技術者女性の会 / 後援：男女共同参画学協会連絡会
日時：2017 年 7 月 12 日(水) 13:20～14:50
会場：名古屋国際会議場 第 10 会場 (2 号館 234(b)室)
・地方でゆるっとダイバーシティ 佐野 理 氏(あおば技術士事務所)
・夢への道のり～研究者・外国人・女性として～ 崔 瑛 氏(横浜国立大学)
・超音波振動薬液注入工法開発の発想から完成まで 野口 好夫 氏(人材開発支援機構)



写真-2 サロン・土・カフェ W 記念撮影



写真-3 女子中高生夏の学校 実験の様子